

ボランティア活動を もっと楽しむために

「聴く力」

が生きるコミュニケーションを目指して



人に寄り添うボランティア活動は、相手の思いを引き出し、受け止めることから始まります。はじめて会う人だけでなく、よく知っている人に、あるいは仲間や外国の方に、あなたはどのようにコミュニケーションをとっていますか。

地域に根ざしたボランティア活動に詳しい妻鹿ふみ子さんとともに、【話を聴く】ワークを通して、自分の「聴き方」の癖や特徴を知り、しっかり「聴いてもらう」ことの心地よさを体験しながら、より共感力の高いコミュニケーションのあり方について考えます。

2026年 3月 24日 火 18:45 ~ 20:30

※ 3人1組のグループワークを中心に進めます。
※ 軽食・お飲み物の用意はございません。

会場：本の森ちゅうおう[京橋図書館] 1階 多目的ホール
(中央区新富1-13-14)

講師：^{めが}妻鹿 心み子 氏



神奈川大学/白梅学園大学非常勤講師。大学ではソーシャルワーク、地域福祉やボランティア論を教えつつ、各地のボランティアコーディネーター研修や、ボランティアリーダー研修の講師をつとめる。また、神奈川県中西部の外国ルーツの親子の支援にも長年かかわっている。かながわボランティアセンターボランティア・市民活動推進会議座長、神奈川県社会福祉審議会委員、練馬区ボランティア・地域福祉推進センター委員等官民のボランティア活動推進の委員もつとめている。主な編著書は、『学生のためのボランティア論』（2006）、『自治体・公共施設のためのボランティア協働マニュアル』（2000）等。

対象 協会登録ボランティア 定員 40名 (先着順) 参加費 無料

メールに添付したGoogle Form URLより必要事項をご記入の上お申込み下さい。URLから申し込みができない場合は、協会までご連絡ください。

申込期限
【3月14日(土)17:00】